



2016年5月10日

各位

会社名 日立金属株式会社
代表者名 執行役社長 高橋秀明
(コード番号 5486 東証第一部)
問合わせ先 コミュニケーション部長 南達也
(TEL. 03-6774-3077)

2018年度中期経営計画を策定

～世界トップクラスの高機能材料会社を実現～

日立金属株式会社（本社：東京都港区、執行役社長：高橋秀明）は、2018年度（平成31年3月期）を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました。経営基盤を強化することによりグローバル市場における成長を推進し、高機能材料メーカーとして持続的に発展することをめざします。

記

1. 中期経営計画の考え方

日立金属は、自動車・産業インフラ・エレクトロニクス等、さまざまな産業において特色ある材料・製品をお届けすることを通じ、社会に貢献してまいりました。

一方、世界規模で経済構造が激しく変化する中、市場のグローバル化はますます加速し、今後競争がより厳しくなっていくことが予想されます。かかる状況において、当社は収益率向上を伴うグローバルでの事業拡大をめざします。そのために、オーガニックグロースを拡大するとともに、M&Aを含む大胆な成長戦略投資によりポートフォリオの継続的な刷新を図ります。このことにより材料・製品開発力の強化、市場・顧客基盤の強化・拡大およびグローバル生産・販売体制の整備等といった経営基盤の強化を実現し、持続的に発展することをめざします。

上記のとおり、当社を取り巻く環境は大きな転換点を迎えており、新たな発展の実現に向け、2018年度（平成31年3月期）を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました。

2. 経営目標数値(連結ベース)

	2015年度実績 (2016年4月27日公表)	2018年度計画
売上収益	1兆176億円	1兆1,200億円
調整後営業利益	761億円	1,200億円
IFRS営業利益	1,000億円	1,120億円
EBIT	991億円	1,120億円
当期純利益*	691億円	750億円
ROE	14.4%	12.2%
海外売上収益比率	56%	58%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

3. 中期経営計画基本方針

2018 年度中期経営計画においては、勝てる事業体へ「変革」、そして新しい目標に「挑戦」をキーワードに基盤強化と成長戦略を推進していくなかで、世界トップクラスの高機能材料会社を実現し、長期にわたり持続的な発展をめざします。

具体的なアクションプランは、以下のとおりです。

① 成長戦略の立案と実行を加速

市場・顧客のニーズに合致した、マーケットイン視点での積極的な研究開発による新製品開発や成長戦略投資（M&A含む）を推進していきます。開発から市場投入、量産立ち上げ、拡販までのスピードを高め、次の柱となる新製品の創出・育成を加速します。また、事業基盤の強化に加えて成長戦略投資を実行することで、収益率の向上をとまなうグローバルでの事業拡大を推進します。これらにより、グローバル市場への展開力、競争力を高め、産業インフラやエネルギー、自動車、エレクトロニクス関連分野において、事業領域を拡大していきます。

② 筋肉質な事業構造・高効率な事業運営

市場環境の変化に柔軟に対応できる筋肉質な事業構造を構築するために、成長が期待できる分野に経営資源を集中し、効率的な事業運営を推進し企業価値の増大を図ります。

事業ポートフォリオの継続的な刷新を実行することにより、経営基盤のさらなる強化を図りグローバル市場で勝てる事業構造の確立をめざします。また、世界トップクラスの高機能材料会社を具現化するために、現場改革と技術開発の融合した「モノづくり改革」を推進し、収益力のさらなる強化を図ります。

③ 長期的に持続可能な経営基盤の確立

2018 年度中期経営計画のアクションプラン「成長戦略の立案と実行」「筋肉質な事業構造・高効率な事業運営」を実行することで、経営効率の向上による健全な財務体質を維持し、長期にわたって持続可能な企業を実現します。

また、ダイバーシティーマネジメントの推進により多様な人材の活躍促進を図ることでイノベーター文化を創造し、持続的成長を実現します。

以 上

（注記）前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提および仮定に基づき算定しております。内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご承知おきください。